

薬連ハイライド

全国薬剤師WEBフォーラム 「つなごう！薬剤師議員」開催

令和2年12月13日（日）全国薬剤師フォーラム「つなごう！薬剤師議員」は、「はじめまして神谷まさゆきです」をメインテーマとして、WEB（ZOOM）を活用し開催された。日本薬剤師連盟の企画実行委員会が機材準備から進行まですべて自分たちで運営した初めてのWEBフォーラムだったが、通信トラブルも少なく大成功に終わった。今回の参加者はこれから次期参議院選挙までエリアリーダーとして活動してもらうことになる。フォーラムは、日本薬剤師連盟山本会長の開会挨拶、藤井基之参議院議員・本田顕子参議院議員・日本薬剤師連盟神谷まさゆき副会長の基調講演の後、ZOOMのブレイクアウトルーム機能を活用して、エリアごとのスマーチループディスカッション（SGD）を行った。SGDでは、「任期満了に伴い引退する藤井もとゆき議員の後任である神谷まさゆきくんを知ってもらうためには？」「コロナ禍での全国キャラバンの方法」につ

いて討議した。本来であれば顔を合わせて熱く語り合いたいところだが、今できることを全国の仲間で共有する有意義なフォーラムとなった。フォーラムの数日前に、プレフォーラムを開催し、自己紹介やアイスブレイクを終えていたためSGDの100分間で深く掘り下げ積極的な討議を行うことができた。SNSの活用方法、近隣のエリアとの連携、神谷まさゆきの人となりを伝える活動が重要であるなどの意見が出た。最後に、オンラインで新しいスタイルのコールで力強く締めくくった。



もとゆき便り

令和3年度予算案

情報監視審査会会長
参議院議員 薬剤師
藤井 基之



令和3年度政府予算案は、昨年末に閣議決定されました。令和3年度一般会計の歳出総額は106兆6097億円と過去最大規模となりました。また、先の令和2年度第3次補正予算案と合わせ、いわゆる15ヵ月予算として、新型コロナ感染症の拡大防止に万全を期すとともに、デジタル社会・クリーン社会の実現や全世代型社会保障制度の構築等の中長期的な課題にも対応するものとなっています。

厚生労働省の一般会計予算総額は33兆1380億円、このうち社会保障関係費が32兆7928億円となっています。令和3年度の介護報酬改定は+0.70%（国費196億円）、障害福祉サービス等報酬改定は+0.56%（国費86億円）となりましたが、毎年の薬価改定の実施により、国費で1001億円を引下げるところとなり、今回も社会保障費の抑制財源を薬業界が負うところとなりました。

医薬関係では、医薬品等の輸入確認手続きオンライン化や「妊娠と薬情報センター」の高度化等、ポストコロナ時代を見据えた対応に新規7億円を計上しています。また、令和4年夏の運用開始予定の処方箋の電子化に向けたシステム構築の事業費、38億円は補正予算案に計上されました。

令和2年度補正予算案及び令和3年度予算案の1日も早い成立に向けて尽力して参ります。

オレンジ日記

昨年末の政府の決定事項

自民党厚生労働部会副部会長
参議院議員・薬剤師
本田 順子



- 昨年末には医療従事者にとって業務への影響が大きい事項が、第三次補正予算案、令和3年度予算案等として決定されました。
- 1 診療報酬・調剤報酬上の対応
 - 必要な感染予防策を講じた小児外来診療等に係る対応（令和2年12月15日から令和3年9月まで）調剤：12点（令和3年10月調剤分からは6点）
 - 感染予防策を講じた一般医療等に係る対応（令和3年4月から9月まで）調剤：4点
 - 2 医療機関・薬局等の感染拡大防止等の支援（第三次補正予算案）
 - 以下の額を上限として実費を補助（国による直接執行）
 - 薬局 20万円
 - 令和2年12月15日から令和3年3月31日までにかかる費用が対象
 - 3 薬価改定（令和3年4月から）
 - 乖離率5%を超える価格乖離幅の大きな品目を対象（約7割）
 - 改定調整幅2%に新型コロナウイルスの影響とみなした0.8%を加えて改定
 - 薬剤費の削減は▲4,300億円程度
 - 4 新型コロナウイルスワクチンの優先接種（分科会で決定）
 - まずは医療従事者等への接種、次に高齢者、その次に基礎疾患有する者、高齢者施設等の従事者
 - 医療従事者の範囲
 - ・病院、診療所において新型コロナウイルス感染症患者（疑いを含む。以下同じ。）に頻繁に接する機会のある医師その他の職員
 - ・薬局において新型コロナウイルス感染症患者と頻繁に接する機会のある薬剤師その他の職員（登録販売者を含む。）
- 以上ですが、薬価の引き下げ改定による医療機関や薬局、そして製薬産業、医薬品卸業への影響が心配されます。